

奨学金説明会

日本学生支援機構
大学等予約奨学金

奨学金と高等教育の修学支援制度(授業料等減免)について

奨学金の種類

給付型奨学金について

- 給付型奨学金の対象者
- 給付型奨学金の申し込み区分
- 給付型奨学金の月額支給額
- 授業料等減免 年額上限

貸与型奨学金について

- 貸与型奨学金の申込基準
- 貸与型奨学金の貸与額

申込手続きについて

目次

奨学金とは？

- 奨学金とは、学ぶ意欲のある学生が、経済的な問題で進学をあきらめることのないようにできた制度

奨学金はどんな人が対象になるの？

- ・要件を満たす人全員が支援を受けられます

世帯収入などの要件を満たしていること

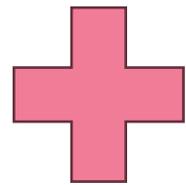
進学先で学ぶ意欲があること

成績だけで判断せず、
レポートなどで学ぶ意欲を確認

【奨学金】と【高等教育の修学支援制度 (授業料等減免)】について

- ・給付型奨学金の採用が決定すると、進学先の学校で授業料等減免の支援が受けられます

給付型
奨学金
の支給



授業料等減免の支援

授業料・
入学金の
免除/減免

2025年度から、
3人兄弟も授業
料・入学金の免
除の対象に！

奨学金の種類

いずれも進学前には振り込まれません！！

奨学金の種類

返還の 必要性

利子

振込頻度

① 給付型奨学金

返還不要

—

毎月1回

(1) 第一種奨学金

利子無し

毎月1回

(2) 第二種奨学金

返還が
必要

毎月1回

(3) 入学時特別増額
貸与奨学金

利子有り

初回振り込み時
1回限り

② 貸与奨学金

給付型奨学金の対象(ピンクの冊子 p 4)

進学予定の学校が対象
となっているか確認す
る。

【選考基準】

学力基準・家計基準(収入資産)の両方を満たす人

①学力基準

(1) 高等学校等における申込時までの全履修科目の

評定平均値が3.5以上。

(2) (1)に該当しない場合、進学に対する学修意欲があるかどうか。

給付型奨学金の対象者(ピンクの冊子 p 4 ~ 6)

★家計基準 世帯の所得に基づいて4つの区分に分かれる。

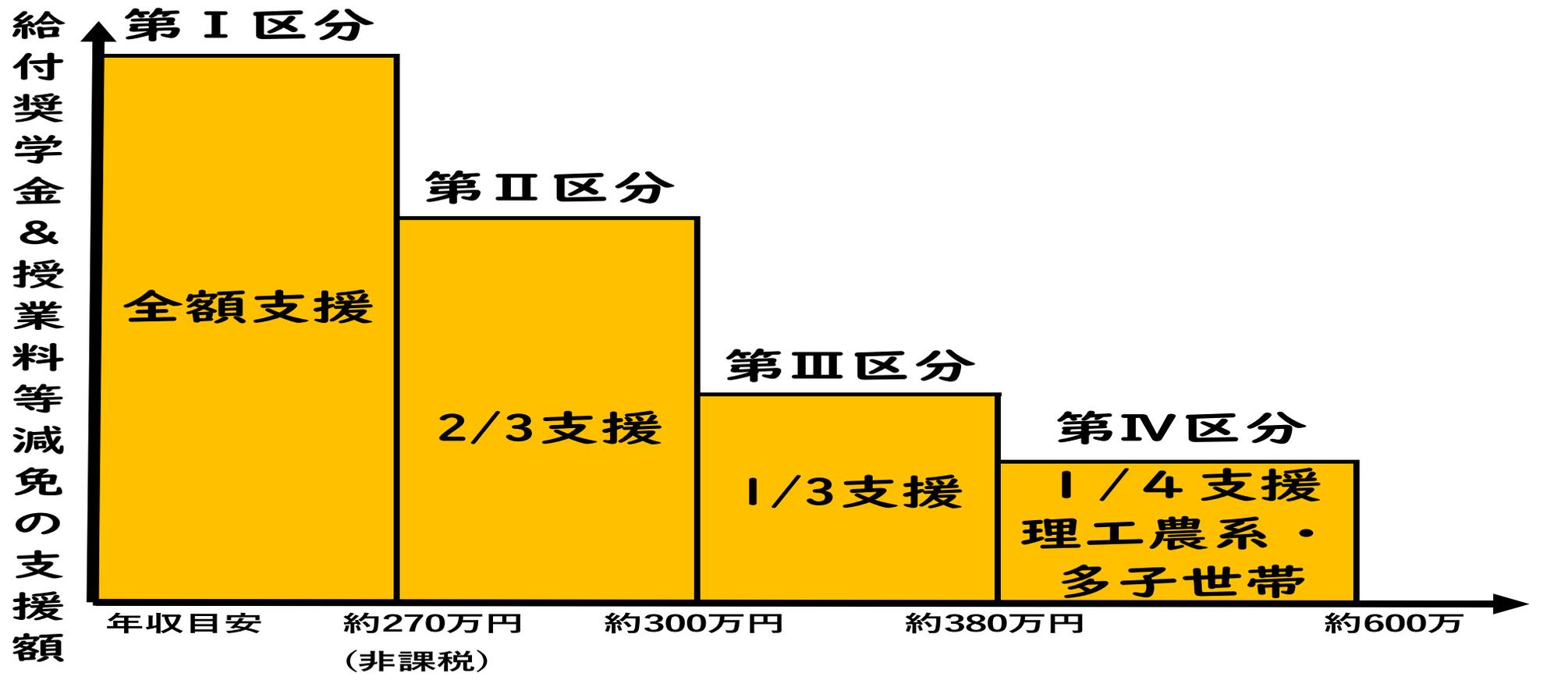
(1)収入基準

(2)資産基準

※(1)と(2)すべてに該当する必要があります。

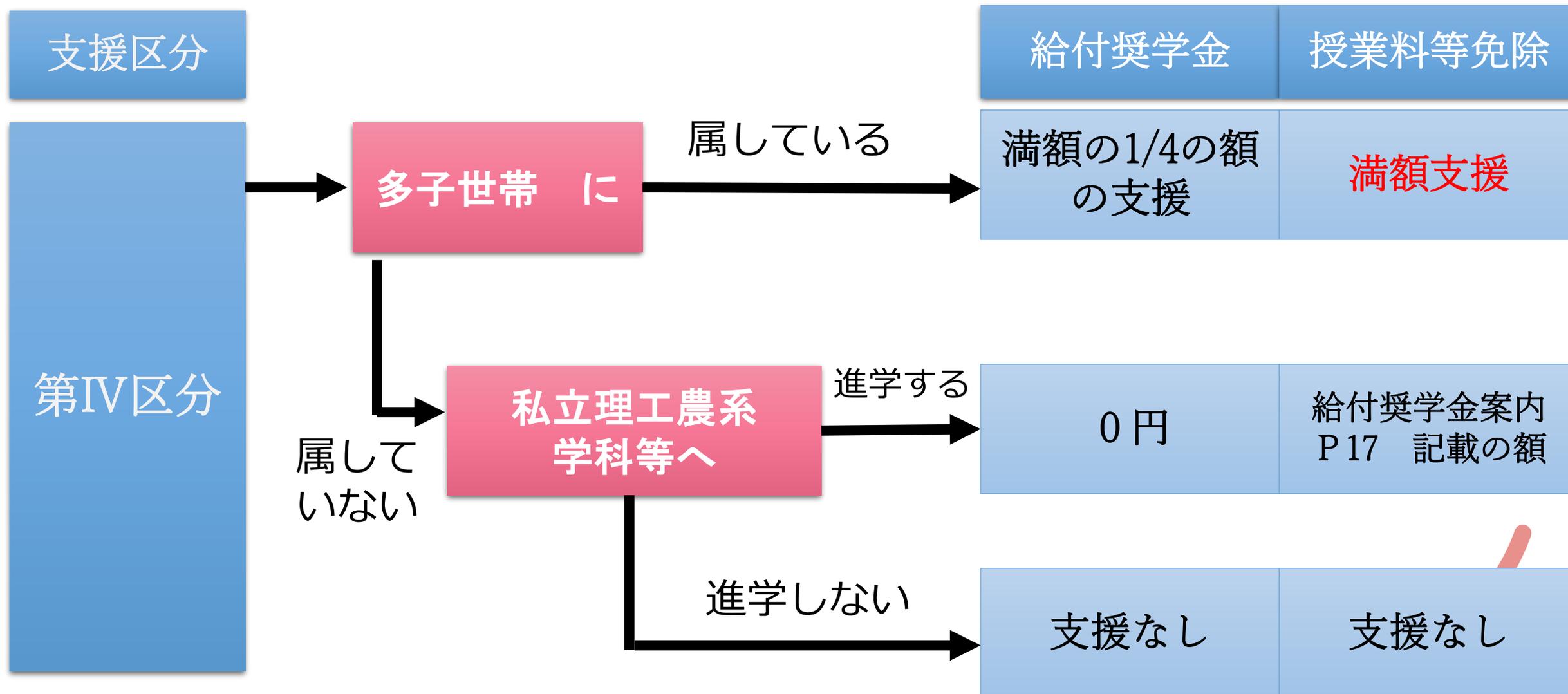
【収入基準に該当するか調べるには…】

- ・進学資金シミュレーターで試算する。
- ・課税(所得)証明書を取得して調べる。



- **第1区分** : 住民税非課税世帯(年収270万円未満) … 満額を支援
- **第2区分** : 年収約300万円未満 … 満額の2/3を支援
- **第3区分** : 年収約380万円未満 … 満額の1/3を支援
- **第4区分** : 年収約600万円未満 … 満額の1/4を支援

第IV区分の支援について(ピンクの冊子8ページ)



給付型奨学金の給付月額

※年収は4人家族の目安です。

※（ ）は生活保護世帯、児童養護施設等から通学する人の金額です。

支援区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第1区分 【満額】 年収約270万未満	29,200円 (33,300円)	66,700円	38,300円 (42,500円)	75,800円
第2区分 【満額の2/3】 年収約300万未満	19,500円 (22,200円)	44,500円	25,600円 (28,400円)	50,600円
第3区分 【満額の1/3】 年収約380万未満	9,800円 (11,100円)	22,300円	12,800円 (14,200円)	25,300円
第4区分 【満額の1/4】 ※多子世帯に限る	7,300円	16,700円	9,600円	19,000円

授業料等減免の年額上限 (ピンクの冊子 p17)

学校種・世帯の所得金額に基づく区分		国公立		私立	
		入学金	授業料	入学金	授業料
大学	第1区分	282,000円	535,800円	260,000円	700,000円
短期大学		169,200円	390,000円	250,000円	620,000円
専門学校		70,000円	166,800円	160,000円	590,000円
高等専門学校		84,600円	234,600円	130,000円	700,000円

※昼間制の授業料減免の上限額 (年額)

給付奨学金についての注意点（p13）

□適格認定（家計） 毎年

進学後、奨学金支給期間中、毎年、申込者と生計維持者の住民税情報を満たしているかJASSOが確認します。

その結果、支援区分が見直されることにより、奨学金の支給が止まったり、支給額が変わったりすることがあります。

□適格認定（学業成績等） 毎年

進学後、在学により学年末に学業成績などの基準に関する判定が行われます。

退学、学業成績不振→給付金打ち切り

貸与奨学金について(緑の冊子)

奨学金の種類		利子	振込頻度
貸与奨学金	返還が必要	(1) 第一種奨学金	利子無し 毎月1回
		(2) 第二種奨学金	利子有り 毎月1回
		(3) 入学時特別増額貸与奨学金	初回振り込み 1回限り

利用可能な
組み合わせ

第1種奨学金

第2種奨学金

第1種・第2種 併用貸与



入学時特別増額貸与奨学金

P 2, p 24 に詳細あり

貸与奨学金の対象者（緑の冊子）

【選考基準】

学力基準・家計基準 両方の基準を満たす人

①学力基準

第1種奨学金（利子なし）※併用貸与含む ※学力基準緩和→P5

高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均値が3.5以上。

第2種奨学金（利子あり） ※以下いずれかに該当

- ・高等学校等における申込時までの全履修科目の学習成績が平均水準以上
- ・特定の分野において特に優れた資質能力を有すると認められる
- ・大学等における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる

貸与型奨学金の家計基準(緑の冊子 p 7)

世帯収入・所得の上限額 目安

世帯人数	想定する世帯構成	(★) が給与所得者の世帯 (年間の総収入金額)			(★) が給与所得者以外の世帯 (年間の所得金額)		
		第一種	第二種	併用貸与	第一種	第二種	併用貸与
3人	申込者 親① (★) 親② (無収入)	716万 円	1,113 万円	661万 円	536万 円	879万 円	489万 円

◆日本学生支援機構 貸与型奨学金 〈月額貸与額〉

第一種奨学金

無利子

	学種	国公立		私立	
		自宅生	自宅外生	自宅生	自宅外生
最高月額	大学	45,000 円	51,000 円	54,000 円	64,000 円
	短大・専門	45,000 円	51,000 円	53,000 円	60,000 円
その他月額	大学 短大・専門		40,000 円	40,000 円	50,000 円
			30,000 円	30,000 円	40,000 円
			20,000 円	20,000 円	30,000 円

第二種奨学金

有利子

学校の種別や通学環境に関係なく

20,000円～120,000円の中から10,000円単位で自由に月額を選択

※私立大(薬・獣医学課程)20,000円増額可(140,000円)

※私立大(医・歯学課程)40,000円増額可(160,000円)

貸与型奨学金の申込区分（緑の冊子 p 2）

申込区分	2024年度から
区分 1	「第1種奨学金」のみ審査を希望する
区分 2	「第2種奨学金」のみ審査を希望する
区分 3	「併用貸与」「第1種奨学金」「第2種奨学金」の審査を希望する

予約採用の選考結果	進学後の進学届提出時に選択できる奨学金 (○が付いている区分を一つだけ選択可能)		
	併用貸与	第1種奨学金	第2種奨学金
併用貸与	○	○	○
第1種または第2種	×	○	○
第1種奨学金	×	○	×
第2種奨学金	×	×	○

給付奨学金と貸与奨学金を併用する場合

支援区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第1区分 【満額】 年収270万円未満	29,200円 (33,300円)	66,700円	38,300円 (42,500円)	75,800円

- 給付奨学金だけでは足りない→貸与奨学金を申し込む

第一種奨学金

	学種	国公立		私立	
		自宅生	自宅外生	自宅生	自宅外生
最高月額	大学	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円
	短大・専門	45,000円	51,000円	54,000円	60,000円

併給調整によって第1種は0円になる。

貸与奨学金案内 p10

貸与奨学金 保証制度 (緑の冊子14ページ)

貸与奨学金の申込には保証制度の選択が必要です
保証制度には

1. **機関保証制度**：保証機関に保証を依頼し、連帯保証を受ける制度
2. **人的保証制度**：JASSOが定める選任条件を満たす人に**連帯保証人**及び**保証人**を引き受けてもらう制度

貸与奨学金 第二種奨学金の 返還時の利率の選択(緑の冊子17ページ)

返還時の利率の算定方法は以下の2つの方式がありますので、いずれかを選択します

1. **利率固定方式**：貸与終了時に決定した返還率が返還完了まで適用される
2. **利率見直し方式**：貸与終了時に決定した返還利率をおおむね5年ごとに見直します

進学資金シミュレーター（給付・貸与）

進学したら、生活費は
いくらかかるのかな？



進学資金 シミュレーター

進学を考えている高校生、在学中の方や保護者の皆様に向けた、進学資金や奨学金に関するシミュレーターです。

このシミュレーターを使うことで、「進学したらどれくらいお金が必要になるのか」「どの奨学金の対象になるのか」「給付や貸与の額はどの程度になるのか」等を簡単に調べることができます。

僕にも利用できる奨学金があるか、調べたいな。



今回の申込について

予約採用（進学前の予約） 採用候補になる

⇒進学後、進学届を提出して振り込みが始まる。

※学校の手続の時期によっては4月から振り込み開始にならないことがありますが、開始月に支払われなかった月額金額が翌月分に加算されて振り込まれます。

在学採用（進学後に申請）

※進学してから学校から説明があり、それから申込⇒審査という流れになるため、振込時期は予約採用より1～2か月は遅れます。

奨学金の申し込みから奨学生に採用されるまで

進学前
4～7月

- ①スカラネットで申し込む
- ②マイナンバーをスカラネットから提出する
- ③確認書兼地方税同意書をJASSOに提出
(簡易書留で郵送、**1週間以内**)
- ④該当者のみ書類を提出(マイナンバーを提出できないなど)

進学前
10～12
月

採用候補者決定通知の交付

進学後
翌年4月

スカラネットで
進学届提出
→ 振込開始

奨学金の申し込みから奨学生に採用されるまで

進学前

4～7月

- ①スカラネットで申し込む
- ②マイナンバーをスカラネットから提出する
- ③確認書兼地方税同意書をJASSOに提出
(簡易書留で郵送、**1週間以内**)
- ④該当者のみ書類を提出(マイナンバーを提出できないなど)

あなたは、
3年 組 番 です。

【スカラネット申し込み】

スカラネットパーソナル
学校 ID : 38306508
パスワード : kd7ia5c3



【手順】

1. 【スカラネット入力準備用紙】に必要事項を記入
2. 専用サイト (<https://www.sas.jasso.go.jp/>) にアクセス
3. 予約採用申し込みを選択
4. 学校IDとパスワードを入力
5. 【スカラネット入力準備用紙】に記入した内容をもとに各項目に回答
6. 申し込み完了後に表示される受付番号を控える
7. マイナンバーを提出する(全てインターネット上の登録になります)
8. 「確認書兼地方税同意書」に本人及び生計維持者が自署で記入した後、
申込者本人が1週間以内に簡易書留で日本学生支援機構に郵送する

①スカラネットで申し込む
⇒ 申込をする前に！

青の冊子「申込みのてびき」のp4～28をまずは書いておきましょう。

奨学金の申し込みから奨学生に採用されるまで

進学前
4～7月

- ①スカラネットで申し込む
- ②マイナンバーをスカラネットから提出する
- ③確認書兼地方税同意書をJASSOに提出
(簡易書留で郵送、1週間以内)
- ④該当者のみ書類を提出(マイナンバーを提出できないなど)

あなたは、
3年 組 番 です。

【スカラネット申し込み】
スカラネットパーソナル
学校 ID : 38306508
パスワード : kd7ia5c3



- 【手順】
- 1. 【スカラネット入力準備用紙】に必要事項を記入
 - 2. 専用サイト (<https://www.sas.jasso.go.jp/>) にアクセス
 - 3. 予約採用申し込みを選択
 - 4. 学校IDとパスワードを入力
 - 5. 【スカラネット入力準備用紙】に記入した内容をもとに各項目に回答
 - 6. 申し込み完了後に表示される受付番号を控える
 - 7. マイナンバーを提出する(全てインターネット上の登録になります)
 - 8. 「確認書兼地方税同意書」に本人及び生計維持者が自署で記入した後、申込者本人が1週間以内に簡易書留で日本学生支援機構に郵送する

茶封筒と一緒にお渡ししている左の用紙に、スカラネット登録手順が書いてありますので、そちらもご覧ください。

左の用紙にあるQRコードを読み込み、スカラネット登録手続きに移ってください。
書いてあるクラスの組、番号は個人で割り振っているスカラネット専用のものなので、間違えないように記入してください。

スカラネット申し込み手順



1. 青の冊子【申込みの手引き p 7 ~ 28】に必要事項を記入
2. 専用サイト (<https://www.sas.jasso.go.jp/>) にアクセス
3. 予約採用申し込みを選択
4. 学校IDとパスワードを入力
5. 【奨学金確認書兼地方税同意書】に記載の申込ID・パスワードを入力
6. 青の冊子【申込みの手引き p 7 ~ 28】に記入した内容をもとに各項目に回答
7. 申し込み完了後に表示される受付番号を控える

学校ID : 38306508
パスワード : kd7ia5c3

※後で必要になります

進学前

4～7月

- ①スカラネットで申し込む
- ②マイナンバーをスカラネットから提出する
- ③確認書兼地方税同意書をJASSOに提出
(簡易書留で郵送、1週間以内)
- ④該当者のみ書類を提出(マイナンバーを提出できないなど)

マイナンバーをスカラネットから提出する

***今年度からの変更点です。スカラネット上でマイナンバーを登録し、提出します。**

進学前
4～7月

- ①スカラネットで申し込む
- ②マイナンバーをスカラネットから提出する
- ③**確認書兼地方税同意書をJASSOに提出**
(簡易書留で郵送、**1週間以内**)
- ④該当者のみ書類を提出(マイナンバーを提出できないなど)

「確認書兼地方税同意書」を日本学生支援機構に提出する

1. それぞれの項目に、本人が必要事項を記入する。
※申込者欄は生徒、生計維持者欄は保護者
2. おもて面に生徒の「身元確認書類」のコピーを貼り付ける。
※生徒証可。カードサイズ以外の書類は貼り付けずに同封する
3. **同封**の専用封筒を使い、簡易書留で機構に直接郵送する。
※ポスト投函はしないこと

進学前
4～7月

- ①スカラネットで申し込む
- ②マイナンバーをスカラネットから提出する
- ③**確認書兼地方税同意書をJASSOに提出**
(簡易書留で郵送、1週間以内)
- ④該当者のみ書類を提出(マイナンバーを提出できないなど)

ほとんどの方は③までで
すべての作業が完了します
学校に提出する書類はありません

奨学金の申し込みから奨学生に採用されるまで

進学前

4～7月

- ①スカラネットで申し込む
- ②マイナンバーをスカラネットから提出する
- ③確認書兼地方税同意書をJASSOに提出
(簡易書留で郵送、1週間以内)
- ④**該当者のみ書類を提出(マイナンバーを提出できないなど)**

④の【該当者】とは、(申し込みの手引き p.29～35を参照)

1. 申込者本人の国籍が「日本国以外」かつ在留資格が「家族滞在」以外の人
2. 申込者本人の国籍が「日本国以外」かつ在留資格が「家族滞在」の人
3. 社会的養護を必要とする人
4. マイナンバーを提出できない人
5. 2025年1月1日時点で海外居住していた申込者や生計維持者がいる世帯

奨学金の申し込みから奨学生に採用されるまで

進学前

4～7月

- ①スカラネットで申し込む
- ②マイナンバーをスカラネットから提出する
- ③確認書兼地方税同意書をJASSOに提出
(簡易書留で郵送、1週間以内)
- ④**該当者のみ書類を提出(マイナンバーを提出できないなど)**

該当する場合は、青の冊子の様式集を確認し、必要書類を
申込期限までに 担任、もしくは事務課まで提出する

※期限厳守

手続き期間と採用決定時期

	生徒等申込期間 (スカラネット)	申込書類 (該当者のみ)の 未来高校への送付期限	学校推薦期間 (スカラAC)	採用候補者決定時期
第1回	4月21日(月) ~5月31日(土)	6月6日(金)	5月19日(月) ~8月1日(金) (※3)	10月下旬
第2回	6月1日(日) ~6月30日(月)	7月11日(金)		11月下旬
第3回	7月1日(火) ~7月31日(木)	8月1日(金) (※4)		12月下旬
予備回 (※1)	10月3日(金) ~10月17日(金)	10月24日(金)	10月9日(木) ~10月24日(金)	1月下旬

***基本的には第2回までの申込をお願いしています。**

よくある質問

- マイナンバーカードがない場合はどうすればいいですか？
→ マイナンバーは今年度からインターネット上での提出となりましたので、マイナンバーが分かればカードは必要ありません。
- 書類を書き損じてしまった場合はどうすればいいですか？
→ 二重線で消し、余白に正しく書き直してください。訂正印は不要です。
- 保障制度、利率算定方式はどれを選べばよいですか？
→ 学校では判断できかねますので、各御家庭でお決めください。

よくある質問

- いくらぐらい借りればいいですか？
→学校では判断できかねますので、各御家庭でお決めください。
- 一応申し込んで、後でキャンセルはできますか？
→進学後に所定の手続きをしなければ自動的にキャンセルになります。
- 後で金額の変更はできますか？
→進学後の手続きの際に概ね可能ですが、できないものもありますので、よく考えてお申し込み下さい。

経済的な問題で進学を諦めないために

- 奨学金について正しく理解する。
- 大学（専門学校）入学から卒業までのマネージョンを持つ。
- 毎月いくら借りるのが適切かしっかり判断する。

- 高校生活3年間の全科目の平均評定値3.5以上を目指す。
- 自分の学力や家庭の状況に合った進学先を探す。
- 入学前に支払わなければならないお金を準備する。